

トピック① 戸籍謄本等の請求が、便利に！

～間もなく窓口が落ち着くことを願って☆～

“3月1日からスタートした「戸籍謄本等の広域交付」”

これまでは・・・

請求書、発行手数料（定額小為替）、
身分証明書や返信用封筒を、
本籍地の市区町村に郵送。わあ、とても面倒！

新制度では・・・

最寄りの役所で、
全国の戸籍謄本等を請求できる！



◎誰のものを取る？

→本人、配偶者、父母、祖父母、
子、孫などの分

◎できないことは？

→郵送での請求、代理人による
請求、コンピューター化され
ていないものの請求

☆これも便利に！！

婚姻届、転籍届では、
原則、戸籍謄本の添付が不要に！！

詳しくは
コチラ



札幌市議会議員

白石区

しの はら
篠原すみれ

市政
報告
すみれた～♪

2024年
3月発行

発行者／札幌市議会民主市民連合 〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目 TEL:011-211-3212
しのはらすみれ市政事務所
札幌市白石区東札幌2条3丁目7番31 KURODA・BLD・1F TEL:011-876-9107 FAX:011-351-5798

本書は、カラーユニバーサルデザイン、UDフォントを使用しています。

トピック② イベント「サタデーステップ+ (in 白石区)」を視察

～ひとりで抱えこまず、まずはご相談を～ 相談は無料！

【ステップが支援する内容】

- 困りごとの解決のお手伝い
- 就労に向けた支援
- 生活費のやりくりの相談
- 住居確保給付金の支給

総合相談会が、3月16日（土）、白石区民センターで開催されました。

複数の機関が各々、「生活」「家計」「住まい」「就労」「法律」「高齢者」

「生活保護」についての相談を受付。当日は137件の相談が寄せられました。「どこに
相談したらいいのかわからないという方に、ぜひ、ステップを利用していただきたい。」

とセンター長の小川貴子氏。身近にいらっしゃいましたら、自立相談支援機関

「ステップ」の存在を、ぜひお伝えください。



▲センター長と



ステップのHP

文教委員会（2月27日）で質問！

2023年度補正予算

内容：児童会館、保育施設、児童養護施設等において、性被害防止対策に必要な設備の一部を補助。
（パーテーション、簡易扉、カメラ等）

質問：国からこの度の補正予算の通達があった後、各保育施設に行った調査でわかった事を伺いたい。

答弁：園内でのプライバシーの確保をするというより、園外からの視界を遮るために活用する等。

質問：従前から子どもの人権に配慮した保育が実施されているが、想定を超えた事態が生じることも
あり得る。いざ事案が発生した際の対応を伺う。

答弁：事案が発生した際には、園児や保護者のケアを第一に、状況確認や原因究明
を求め、再発防止ための助言等、真摯に対応する。

要望：今回の補正予算の終了後も、未然防止や園の要望にしっかりと対応を。



初めて！
代表質問 登壇しました



2024年第1回定例会市議会
(2月14日～3月26日)

の代表質問にて、
2月22日、篠原すみれが、
6項目を取り上げました。



♪ このようなことを質問 ♪

1 子どもアドボカシーに関する取組
✿ 子どもの声を届ける「子どもアドボカシー」

2 生活困窮者への支援

✿ 複合的な福祉課題の解決のために

3 ユニバーサルデザインの推進

✿ 共生社会の実現のために

4 ポップカルチャーを活用した
まちづくり

✿ 可能性と今後の展開について

5 アーツカウンシルの設置

✿ 文化芸術の価値を生かすために

6 無電柱化の推進

✿ 1986年にスタートとした無電柱化

01 児童福祉法の改正に伴う取組

(1) 子どもアドボカシーに関する取組について

- Q 子どもとの信頼関係を築きながら、思いや意見を代わりに表明するなど重要な子どもアドボカシー。今後の取組について伺う。
- A 子どもの最善の利益を実現するため、弁護士や公認心理師などの専門職が児童養護施設等を定期的に訪問し、子どもの意見表明を支える事業を開始する。

02 生活困窮者への支援

- Q 物価高騰の影響が深刻化する中で、生活困窮者への支援の強化について伺う。
- A 必要な支援のため、多様化・複雑化する相談ニーズに対応したい。
- Q 組織横断的な支援のため市内4区に「支援調整課」を設置。今後の取組について伺う。
- A 相談支援機能の強化や体制の構築が重要。様々な外部機関との連携を図っていききたい。

03 ユニバーサルデザインの推進

- Q ユニバーサルデザインの考え方は共生社会の実現に寄与する重要なもの。本市が先頭に立ち、各部署の連携が必要だが、考えを伺う。
- A 誰もが利用しやすいユニバーサルデザインの推進は不可欠。アクションプラン2023において、カラーユニバーサルデザインなどを取り入れた情報発信を、充実させることも盛り込んでおり、今後取組を強化していく。

04 マンガ等のポップカルチャーを活用したまちづくり

- Q ポップカルチャーを活用したまちづくりを推進するための、来年度の展開について伺う。
- A マンガ等を通じ、札幌・北海道の文化、魅力を発信するモデル事業の実施と、あり方を検討。道内外の企業や大学等との意見交換、人材育成、地域活性化の可能性を探りながら検討していききたい。



05 アーツカウンシルの設置

- Q 文化芸術の持つ価値をまちづくりに活かすには、文化や芸術にかかわる個人や団体を支援する第三者機関「アーツカウンシル」が不可欠。考えを伺う。
- A アーツカウンシルの機能は、本計画案において初めて明記した。設置に向けては、組織のあり方や規模など課題の整理と検討を進めていく。

06 無電柱化の推進

- Q 本市の目的は、「防災性の向上」「安全性・快適性の確保」「良好な景観形成」。費用、工期、積雪寒冷地という条件に加え、近年の資材費高騰や労働問題等の諸課題がある中、無電柱化を着実に推進すべきと考えるが、今後について伺う。
- A 防災の観点から推進すべき事業と認識している。北海道無電柱化推進協議会での検討を重ねながら、引き続き取り組んでいきたい。



☆3月1日（金）選挙管理委員会に☆

【主権者教育における選挙管理委員会の役割と取組について】

子どもたちを「自ら考え、自ら判断し、行動していく主権者に育成」するための主権者教育は重要。教育現場との連携に加え、子どもの声を聞くためのアンケートの実施（例えば、リーフレットにQRコードを掲載する等の簡易的な手法で）を求める。

☆3月19日（火）教育委員会に☆

【野外教育総合推進事業について】

不登校児童生徒に向けた自然体験活動と、その活動のリーダー養成を一体的に行う野外教育総合推進事業は、子どもたちの貴重な居場所づくりを官民連携で取組む重要な新規事業。いずれ、教育支援センターを利用していない不登校児童生徒も対象となるよう、裾野を広げていただくことを求める。

2024年第1回定例市議会 予算特別委員会

☆3月8日（金）まりづくり政策局に☆

【景観計画の推進について】

2017年に現在の札幌市景観計画が策定されたが、計画策定当初とは社会や経済の情勢が大きく変わっているため、しっかりと検証すべき時期に差し掛かっている。正解がなく、時として感性によるところがある分野ゆえ難しい局面があるが、景観の取組を着実に進めていただくことを求める。



札幌市の景観色70色には、風土イメージを想像できるオリジナルの札幌らしい色の名前がつけられています。白石区にも、景観色70色が使われているところがありますよ！
例えば、菊水円形歩道橋の「薄桜」や、北郷小学校の「白樺」などです。

カラーチャート→



☆3月14日（木）市民文化局に☆

【札幌国際芸術祭 SIAF2024 について】

6年半ぶりの開催。企業が、芸術祭にイニシアティブパートナーという形で参加したことは、今後のまちづくりにおいて持続的な関係性を築けるかの試金石となった。今後も、『体験』や『参加』を大切に、芸術祭が札幌市民のものであることを実感できるよう発展させることを求める。

【文化芸術におけるインクルーシブの取組について】

障がいの有無に関わらず、子どもが文化芸術に触れることのできる機会の創出は、行政が担う重要な役割。子どもの頃からインクルーシブの視点を育む観点からも、特に、障がい児向けに特化した事業に、どんな子どもたちも一緒に参加し、障がいのある子どもたちの音楽の楽しみ方を、共に感じられる仕組み作りを求める。

